

## 田中・池上(2018).「社会的排除が他者とペットの温かさの評定に及ぼす影響—否定的評価懸念の水準による相違に注目して—」についての訂正

### 誤

続いて、社会的排除の操作として、サイバーボール(Williams et al., 2000)を実施した。最初に練習試行を行ってから本試行に移った。練習試行では、対戦相手はコンピューターであると教示した。トスの回数は12回であり、参加者に対して他のプレーヤーと同じ頻度でパスが回された。本試行では、他の実験室にいる参加者3名とネットワークを介してゲームを行うと教示した。実際には、他のプレーヤーはコンピューターで制御されていた。

### 正

続いて、社会的排除の操作として、サイバーボール(Williams et al., 2000)を実施した。参加者は、ゲームの場面のスクリーンショットを含んだ、ゲームの説明のための動画を視聴した後、ゲームを行った。他の実験室にいる参加者3名とネットワークを介してゲームを行うと教示した。実際には、他のプレーヤーはコンピューターで制御されていた。

2018年3月発刊の対人社会心理学研究第18号145-154頁に掲載された論文「田中 宏明・池上 知子(2018). 社会的排除が他者とペットの温かさの評定に及ぼす影響—否定的評価懸念の水準による相違に注目して—」の148頁におきまして、論文の方法部分について誤った記述があることが著者より報告がありましたので訂正申し上げます。大阪大学学術情報庫(OUKA)で公開されている電子版につきましては既に差し替え済みです。なお、今回の訂正による論文の趣旨への影響はございません。この度、読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます